

平成 27 年 2 月 10 日

2 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、好天に恵まれ順調な生産が続く。入荷量は平年を上回る。スギは柱材・中目材ともに比較的順調な荷動きで、特に柱材の引合いは堅調。ヒノキは全般に荷動きは低調で、柱材の引合いが弱く、入荷量の少ない中目材はまずまずの引合い。価格は期待した年明け後の製品需要の回復が弱く、スギ柱材以外は弱保合から弱含みで推移。スギは不足感の続く柱材が強保合だが、中目材は弱保合、目粗材は値下げ。ヒノキは柱材が弱含みで値下がり、中目材は弱保合で推移。

群馬の製材工場の操業状況は、2 月に入り若干暇になったが例年並みの状況。製品の販売は、プレカットへは順調だが、製品市場は年度末公共物件の完了に連動して荷動き感が全くない。製品在庫は増加、特にヌキなど副産物に荷余り感。原木は年明けから雪の影響少なく出材は順調。年度末に向けて国有林等の追込みの伐採で原木は豊富。原木在庫は十分な手当が進んでおり、山土場や原木市場も増加傾向。製品価格は変動少なく安定しているが、一部で安売り感。

2. 米材

米国産輸出向け丸太は、日本・中国ともに引合い低調だが、新年度がスタートし例年より雪も少なく出材は好調。港頭在庫は順調な伐採が続き増加中。ウェアハウザー社の 2 月積み対日米マツ価格は、1 月積比 \$ 10 ダウンの \$ 880 (推定) で決着。米材丸太の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の大手港湾製材工場は通常の操業。米国西海岸の港湾労使交渉は依然として解決の糸口が見つからず膠着状態が続く。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)1 月の入荷量は 28.3 千 m^3 で前月比 16.2%の増、出荷量は 28.8 千 m^3 で同 2.2%増、在庫量は 40.6 千 m^3 で同 12.7%減。産地情勢はランダムレングス紙 15 種平均価格が 1 月末に \$ 362 とジリ安状態。2/3 日積 DF 小角 \$ 440-445/ m^3 、垂木 \$ 460/ m^3 レベル。SPF 2×4J グレードは \$ 530-535/Mfbm でほぼ横這い。1 月のプレカット工場の稼働状況は 12 月のずれ込みもあり忙しかったが、2-3 月の仕事量少なく、荷動きは当用買い中心で先行き不透明。国内在庫減で不足材は値戻し中だが、ビルダーの値下げ要請強い。米西海岸のコンテナヤードのストの影響で船積み遅れが激しくなった。

3. 南洋材

サバは雨期で伐採が大幅にスローダウンする中、旧正月を控え伐採業者が下山したため出材は今後さらに低下する見込み。暫くは輸出需要に供給が追いつかず、丸太・製品価格とも強含み。サラワクは雨が激しく伐採はかなり低迷。不法伐採取締強化が続き丸太の供給は不安定、価格は無いもの高が続くと予想。PNG ソロモンも天候不良で出材が不安定、価格も強含み。南洋材丸太は入・出荷、在庫ともに横這い。製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品は活発な動き無く、当用買い以外の商いは少ない。為替下落の価格転嫁は少しずつ進む状況。

4. 北洋材

ロシアシベリア地方の伐採は天候良く順調。ルーブル安による国内情勢の悪化、インフレに伴い価格調整が今後の課題。極東地方のカラマツの輸出拡大を図るため、ハバロフスク州の主な製材メーカーのオーナー一行が来日し、数量の倍増を PR。富山新港の1月の丸太入荷は無く、原盤入荷は5.4千 m^3 。在庫は丸太1ヶ月前後、原盤は2ヶ月前後。価格動向は、丸太はエゾマツ・カラマツともに弱含み、アカマツは4月以降弱含み。製材品は一部の現地挽き製品のみ高値で、全般に円安に伴う値上げムードはない。荷動きは丸太が需要減で低調、製材品は現地挽き入荷減でも低調。主力製品の30×40cmの動き鈍化、昨年より3m材の不足感続く。国内の北洋材製材工場は不採算。稼動状況は生産調整、丸太生産縮小続く。受注状況は住宅着工減少の影響で減少しているが、マンション材は順調。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は引続き強含み横這い。ロシア材も横這い、米材も強含み横這いが続く。南洋材は現地が雨期で出材減と違法伐採取締りの影響で強い状況。12月の国内総生産量22.8万 m^3 のうち針葉樹合板は21.2万 m^3 、出荷量は22.4万 m^3 と再び高水準で、2か月ぶりに出荷量が生産量を上回る。在庫量は21.5万 m^3 と減らしたものの依然高水準。販売価格は、メーカーが値戻しを唱えているが、需要が厳しい中では横這いが順当で、暫くは綱引きが続くと思われる。

国産針葉樹合板は昨年末までのトラック不足が解消し、受注残も1月中旬にはほぼ解消。価格もメーカー建値への移行は難しく一部で安値も散見。輸入合板は仕入れのコストアップはあるものの荷動き悪く、この1か月は完全な横這い状態。先行き針葉樹合板は、メーカーの値戻し唱えが需要低迷で難しく、商

社・問屋との綱引きは今後も続く予想。輸入合板は現地のコストアップから強含みで推移すると思われが、需要動向からスピード感は無いと予測。針葉樹合板は全体的にだぶつき、ラワン合板の 2.5mmB 品、ノン JAS 品、5.5mm で品薄感続く。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は順調だが、契約数量は少ない。本年第 1 四半期の契約数量も国内メーカーの使用量の 80%程度。価格は今年の 1€140 円後半のものが 2-3 月に入港、4 月以降は為替レートの影響でラミナ価格は下がる模様。国産集成材の 1 月受注は好調で、2 月受注も好調続く予想。荷動きは順調だが、プレカットの仕事量少なく、販売先行きは減少する見込み。在庫は引続き少なく納期は 2 週間程度。価格は RW 梁桁、柱に値上げの一服感出る。2 月も品薄感はあるものの、プレカット工場の仕事減の影響で、値上げに歯止めがかかると予測。輸入集成材は港頭在庫減少が続く中、順調な入港で品薄感が多少和らぐ。中期的には円安対策のため、国産材集成材の引合いが増加すると予測。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ、ヒノキとも住宅着工減少の影響で極めて不振、ここにきて滞留在庫が増加。造作材はスギ建具用が展示会の在庫補充のため荷動き良く、リフォーム需要も小粒ながら良好。外材の構造材は、入荷減で港頭在庫は少ないが需要減のため動きは悪い。造作材は米ヒバ、スプルー、ピーラーの良材は引続き動きまずまず。販売動向は 2 月も買方の手持仕事量少なく、在庫意欲は乏しいが、ここにきて見積依頼が増えてきており、先行きに多少の光明が見られる。

8. 小売

国産材の構造材はスギ、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ垂木保合、米ツガ KD 角、平割保合、45×105×3m、4mは品薄で強保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー良材、ナラ、タモ強保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも保合。合板は針葉樹、ラワンともに保合、輸入合板は強保合。床板・フロアの低価格品強保合。工務店は新築物件少なく、リフォーム中心の受注だが、職人不足が深刻。

2月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

↑ 急増・急上昇
 ↗ 増加・上昇
 → 横ばい
 ↘ 減少・低下
 ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	↘
			ヒノキ柱材(3m)2等	↘
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↗
(国内挽き)		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
		ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)		→
	東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m)特等	↘
			アカマツ(3.0×4.0×4m)特等	↘
			カラマツ(10.5×10.5×4m)特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→